

牛サルモネラ症に注意しましょう！

毎年、県内の酪農経営体で牛サルモネラ症が発生しております。本症が発生すれば、抗生物質を使用することとなり、治療期間（出荷制限期間）の生乳が廃棄され、大きな経済的損害を引き起こします。

農場への侵入防止と牛の健康観察を強化し、感染を予防しましょう。

【どんな症状？】

①発熱（40℃前後） ②下痢・軟便・血便 ③乳量の減少

*導入牛、人、物品、野生動物などによって農場内へ侵入したサルモネラ菌が牛に感染し、暑熱や分娩などのストレスが引き金となり発症します。

【発生の影響は？】

- 著しい乳量の減少や流産により、大きな経済的損害をひきおこします。
- 抗生物質による治療期間（出荷制限期間）の生乳は廃棄となります。

<過去の事例>

発生頭数:7頭、生乳廃棄期間:6日、治療費:1頭当たり約10,000円 計420,000円の損害

- 無症状で排菌を続ける保菌牛により、感染が拡大します。

【対策は？】

①侵入防止

- 牛舎への関係者以外の立ち入り制限
- 来場者の車両及び履物の消毒
- 野鳥、野生動物の侵入防止
- 導入牛の隔離及び健康観察



②まん延防止

- 牛舎の定期的な清掃・消毒（特に飼槽・ウォーターカップ）
- 異常牛の早期発見・隔離・治療

問い合わせ先

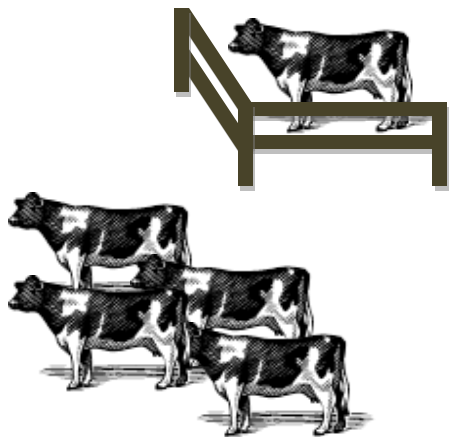
岩手県中央家畜保健衛生所 019-688-4111 岩手県中央家畜衛生協議会 019-688-4015

岩手県県南家畜保健衛生所 0197-23-3531 岩手県南家畜衛生推進協議会 0197-24-5532

岩手県県北家畜保健衛生所 0195-49-3006 岩手県北家畜衛生協議会 0195-49-3040

一般社団法人岩手県畜産協会 019-694-1300

牛サルモネラ症の対策



導入牛は隔離し、健康観察



防鳥ネットによる野生動物の侵入防止



踏み込み消毒槽による長靴消毒



餌槽等を清潔に保つ



噴霧器による車両消毒

お願い

立入禁止

(海外渡航歴はありませんか?)



立入記録

(忘れずにご記入ください。)



部外者の立入禁止看板・記録